

東林館高等学校 通信教育実施計画

科目名(単位数)		保健2(1)			
対象年次		期別	必要面接時数	レポート数	
原則 2年次		通年	1	3	
科目の概要	「現代社会と健康」「安全な社会生活」 私たちの心身の変化を知り、自然環境についてや社会制度のしくみなどを理解する。 食事を取ることでの身体の変化や与える効果について考え、理解する。				
科目の目標	健康は生涯を通じた人間の生活の土台となるものである。食事が身体に与える効果や大切さを知り、理解することができるように知識を養う。また、心身の変化や自然環境、社会制度のしくみなどについて理解する。				
年間学習計画・学習のねらい	学習内容	到達目標	スクーリング回	レポート回	試験範囲
	食事と健康	食事をとることの大切さを知り、 健康的な食生活とは何かを理解する。	1		
	・健康の考え方と成り立ち ・私たちの健康のすがた ・生活習慣病の予防と回復 ・がんの原因と予防 ・がんの治療と回復 ・運動と健康 ・食事と健康 ・休養・睡眠と健康	健康の考え方や成り立ち、健康のすがたについてより理解を深めていく。また運動・食事・休養・睡眠の日常生活から健康につながる道すじを学び、理解する。		1	前期
	・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康 ・精神疾患の特徴 ・精神疾患の予防 ・精神疾患からの回復 ・現代の感染症 ・感染症の予防 ・性感染症・エイズとその予防	喫煙・飲酒・薬物乱用から健康にどのような影響を与えるかを知る。また、精神疾患や感染症の予防や回復までの流れなどについても理解する。		2	後期
	・健康に関する意思決定・行動選択 ・健康に関する環境づくり ・事故の現状と発生要因 ・安全な社会の形成 ・交通における安全 ・応急手当の意義とその基本 ・日常的な応急手当 ・心肺蘇生法	健康に関する意思決定や行動選択、環境づくりについて学ぶ。また、事故がどのような状況で起きてしまうのか、安全に生活していくために自身で何ができるかを考えることができる。日常生活で活用できる応急手当等を学び、理解する。		3	
	評価方法	年度末の学習評価は下記の通り行う。 学習評価(観点別評価)□ 添削指導 面接指導 定期試験 知識・技能□ 60% 40% 思考・判断・表現□ 60%□ 40% 主体的態度□ 80%□ 20%□ 0%			
単位の修得	①レポート:規定回数のレポートを提出し、合格すること。 ②スクーリング:規定回数の全ての回に出席すること。 ③定期試験:前期試験1回、後期試験1回を受けること。 ④評定は、観点別評価をふまえて総合的に判断する。達成状況と評定の関係は次の通りとする。 [～2割:1、2割～4割:2、4割～7割:3、7割～9割:4、9割～:5]				
使用教科書等		教科書:現代高等保健体育(大修館) 学習書:現代高等保健体育 学習書 全国高等学校通信制教育研究会(大修館)			
学習上の留意点		スクーリングに出席の際は、教科書と学習書を必ず持参すること。 レポートは1年間で3枚配布するので、すべてを提出し合格が必要である。			